

科目名	臨床評価学セミナー（理学療法）	担当教員	隈元 庸夫※ 伊藤 俊一※ 信太 雅洋※ 小林 巧※ 山中 正紀※ 小塚 直樹※ 久保田 健太※ 世古 俊明※ 森野 陽※ 佐藤 公博※ 小川 峻一※ 伊藤 俊輔※ 野陳 佳織※ 高橋 春花 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR31EF	①、②、③					

科目概要	本セミナーでは、「臨床評価学実習」に向け、これまで“理学療法評価学”で学習した臨床、必要な知識・技術・態度について演習を交えて理解する。知識、技術、態度面も含めて客観的臨床能力試験（OSCE）を実施する。本科目を通じて、評価の計画、実施、その結果の解釈という一連の流れについて理解を深める。
学習目標	① 実習に必要な態度・姿勢について理解する。 ② 実習領域の評価に関連する知識を復習する。 ③ 実習領域の評価に関連する実技を復習する。 ④ 実習で体験した内容を報告する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	ガイダンス1	臨床評価学実習の概要	臨床評価学実習の概要を理解する。	担当教員 全員
2	ガイダンス2	知り得た情報の管理方法、記録とレポート作成方法	知り得た情報の管理方法を理解する。 実習記録とレポートの作成方法を理解する。	担当教員 全員
3	演習1	実習領域の評価に関連する知識	実習領域の評価に関連する知識を復習する。	担当教員 全員
4	演習2	〃	〃	担当教員 全員
5	演習3	〃	〃	担当教員 全員
6	演習4	〃	〃	担当教員 全員
7	演習5	〃	〃	担当教員 全員
8	演習6	〃	〃	担当教員 全員
9	報告1	実習施設の概要や役割の報告	実習施設の概要や役割および体験内容を報告する。	担当教員 全員
10	報告2	〃	〃	担当教員 全員

11	報告 3	〃	〃	担当教員 全員
12	報告 4	〃	〃	担当教員 全員
13	報告 5	〃	〃	担当教員 全員
14	報告 6	〃	〃	担当教員 全員
15	報告 7	〃	〃	担当教員 全員
評価方法		実技試験（60%）、サマリー発表（40%）		
課題に対するフィードバック		1 実技試験終了後、フィードバックする。 2 サマリー発表を通してフィードバックする。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		特に指定しない。		
学習の準備		臨床評価学実習に向けて、これまで学習した内容をできる限り復習すること（45分）		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他各担当教員から連絡する。		
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験		担当教員の実務経験を基に、臨床評価学実習に向け、知識、技術、態度面も含めて客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、評価の計画、実施、その結果の解釈という一連の流れについて実践的な指導をする。		